

日本測地学会第 138 回講演会プログラム

期日：2022 年 10 月 5 日（水）～ 10 月 7 日（金）

場所：鹿児島大学稲盛会館

主催：日本測地学会

講演会予定表

	10月5日（水）	10月6日（木）	10月7日（金）
9	開会宣言（8:45-8:50）	地殻変動（1）（27-32） 8:40-10:10	重力（1）（53-58） 8:40-10:10
10	GGOS（01-06） 8:50-10:20		
11	地球回転・地球潮汐・測地 （07-10） 10:20-11:20	地殻変動（2）（33-38） 10:20-11:50	重力（2）・理論測地（59-64） 10:20-11:50
12	昼休み	昼休み/評議会	昼休み
13	ポスターコアタイム（P01-P08） 12:35-13:35	SAR（1）（39-45） 13:10-14:55	地殻変動（3）（65-70） 13:10-14:40
14	海洋測地（11-17） 13:35-15:20		
15	南極測地（18-22） 15:30-16:45	SAR（2）・GNSS（46-52） 15:05-16:50	地殻変動（4）（71-76） 14:50-16:20
16		坪井賞授賞式・記念講演 16:50-17:50	閉会宣言・学生優秀発表賞 発表 16:20-16:30
17	計測技術（23-26） 16:45-17:45		
18			

【口頭発表】発表時間は申し込みの際の申請時間に依らず、1件15分（発表12分、質疑応答3分）とします。会場での発表用PCは各自でご用意いただき、Zoomに接続して発表していただきます。詳細は9月16日（金）までに講演者にお知らせします。

【ポスター発表】10月5日から10月7日のお昼まで掲示をお願いします。場所は、2階ホワイエです。コアタイムは10月5日12:35～13:35です。大きさは、横88cm以内、縦150cm以内です。オンライン発表やZoomによる配信は行いません。

【懇親会】依然コロナ禍であり、開催しないこととさせていただきます。

【評議会】評議会は、稲盛会館1階中会議室で行います。この部屋はLOGの部屋としても使用します。

【事前参加登録】講演会に参加される方は、現地参加・遠隔参加を問わず、9月26日（月）までに参加フォーム（<https://www.geod.jpn.org/regist2/index.html>）を用いて事前登録をお願いします。

2022年10月5日(水)

開会宣言 (8:45-8:50)

GGOS (8:50-10:20)

座長：横田裕輔，宮原伐折羅

01 8:50-9:05

全球統合測地観測システム(GGOS) —最近の活動
と日本での連携—

#宮原伐折羅，大坪俊通，横田裕輔，栗原 忍
Martin Sehnal

02 9:05-9:20

MADCOA を用いた GNSS 軌道暦推定

#大野圭太郎，阿部 聡，高松直史，川元智司
秋山恭平

03 9:20-9:35

NICT 光原子時計の重力赤方偏移に起因する不確か
さ軽減とその定量的評価に向けた測地観測 その
2

#市川隆一，蜂須英和，関戸 衛，井戸哲也
青山雄一，服部晃久，福田洋一

04^o 9:35-9:50

小型・低価格 Omni-SLR 組み上げ試験(1) 概要と
追尾系

#大坪俊通，荒木博志，横田裕輔，松本岳大
小林美穂子，河野賢司，土井浩一郎
青山雄一，高嶋 徹，柳本教朝

05 9:50-10:05

小型・低価格 Omni-SLR 組み上げ試験(2) 光学系
#荒木博志，大坪俊通，横田裕輔，松本岳大
小林美穂子

06 10:05-10:20

小型・低価格 Omni-SLR 組み上げ試験(3) タイミ
ング計測系

#横田裕輔，大坪俊通，荒木博志
松本岳大，河野賢司

地球回転・地球潮汐・測地 (10:20-11:20)

座長：古屋正人，山下達也

07 10:20-10:35

最近のチャンドラーウォブルの消失が提示した知
見と問題点

#古屋正人，山口竜史

08 10:35-10:50

JRA-55 に基づく大気角運動量の計算

#山口竜史*，古屋正人

09 10:50-11:05

海洋島の地下水潮汐のハイブリッドモデリング
— 桜島島内の観測を用いた検証

#大久保修平，山本圭吾，井口正人

10 11:05-11:20

電子基準点と干渉 SAR 時系列解析を組み合わせた
地殻変動補正に向けて

#山下達也，深谷俊太郎，上芝晴香
中村見奈子，マービット京湖
三木原香乃，古屋智秋，小林知勝

昼休み (11:20-12:35)

ポスターコアタイム (12:35-13:35)

P01-P08

海洋測地 (13:35-15:20)

座長：飯沼卓史，木戸元之

11 13:35-13:50

紀伊半島沖の海底掘削孔内に設置された高感度傾斜計による傾斜変動観測

#辻 修平, 荒木英一郎, 横引貴史, 西田周平
町田祐弥, Mark Zumberge, 高橋恵輔

12 13:50-14:05

ウェーブライダーを用いた GNSS-音響測距結合方式の海底地殻変動観測 (その3)

#飯沼卓史, 木戸元之, 福田達也, 太田雄策
富田史章, 有吉慶介, 永野 憲
プラタ-マルチネス ライムンド, 日野亮太
高橋浩晃, 堀 高峰

13 14:05-14:20

様々な海況下でのウェーブライダーの運動姿勢について

#木戸元之, 飯沼卓史, 福田達也, 太田雄策
富田史章

14 14:20-14:35

SG0-A における機器・角度依存した上下動誤差と GARPOS を用いた音響信号読み取り方法の検討

#永江航也, 横田裕輔, 石川直史
渡邊俊一, 中村優斗

15 14:35-14:50

数値シミュレーションによる GNSS-A 解析ソフトウェア「GARPOS」の精度評価: フルベイズと経験ベイズの精度比較

#中村優斗, 横田裕輔, 石川直史, 渡邊俊一

16 14:50-15:05

機械学習を用いた GNSS-Acoustic 観測の音響波形解析-Convolutional Neural Network による走時検出-

#黒須直樹*, 木戸元之, 本荘千枝

17 15:05-15:20

海底間音響測距に基づく岩手県沖海溝軸の挙動に関する研究

#西村 建*, 木戸元之, 日野亮太

-休憩-

南極測地 (15:30-16:45)

座長: 入江芳矢, 中尾 茂

18 15:30-15:45

東南極白瀬氷河で 2020 年および 2021 年に発生した流動減速イベント

#大川翔太郎*, 土井浩一郎, 青山雄一

19 15:45-16:00

Sentinel-1 衛星データを用いた東南極 Amery 棚氷付近の氷河の季節的な速度変化の測定

#池谷 駿*, 古屋正人

20 16:00-16:15

南極の昭和基地とラングホブデにおける絶対重力測定

#高木 悠, 加藤知瑛, 畔柳将人, 小川拓真
豊福隆史, 吉田賢司

21 16:15-16:30

東南極 Lützow-Holm 湾周辺の急激な氷床融解と現在観測される GIA 変動

#服部晃久, 奥野淳一, 土井浩一郎, 青山雄一

22 16:30-16:45

GIA に伴う南極重力場変動の地球内部粘弾性構造依存性

#入江芳矢, 奥野淳一, 石輪健樹, 土井浩一郎
福田洋一

計測技術 (16:45-17:45)

座長：田所敬一，瀧口博士

23 16:45-17:00

将来型衛星測位システムの高精度軌道時刻推定機器の研究- 高精度加速度計・光周波数基準システムの開発 -

#瀧口博士，松下紗也，佐々木俊崇，秋山恭平
山田英輝，末正 有，成田秀樹，橋本洋輔
河野 功，長野晃士，和泉 究，竹内裕一
武者 満，安東正樹，佐藤修一

24 17:00-17:15

次世代超高感度マイクロ波放射計用広帯域受信機の開発(III)

#氏原秀樹，市川隆一，関戸 衛，宮原伐折羅
宗包浩志，小林知勝，寺家孝明，小山友明
竹内 央，今井 裕

25 17:15-17:30

大災害発生時の地下水利用に伴う地盤沈下モニタ一手法としてのGNSS計測手法の開発

#島田誠一，徳永朋祥，愛知正温

26 17:30-17:45

CenterPoint RTXによるGNSS測位試験

#田所敬一，小池遥之，松廣健二郎

27 8:40-8:55

日本海溝及び千島海溝における短期的スローリップイベントの系統的検出

#岡田悠太郎*，西村卓也

28 8:55-9:10

GNSSデータへの深層学習の適用による短期的SSEの断層すべり直接推定

#中川 亮*，福島 洋，加納将行，矢野恵佑
平原和朗

29^o 9:10-9:25

断層すべりの自己相似性を先験情報としたすべり分布推定手法の高度化

#山田太介*，太田雄策

30 9:25-9:40

地殻変動モデリングにおけるGreen関数の比較

#高田大成*，田中愛幸

31 9:40-9:55

島弧の高重力異常と沈み込み帯の各種パラメータとの関係

#西沢貴志*，深畑幸俊

32 9:55-10:10

山腹におけるシル貫入に伴う地殻変動：Sierra Negra火山2018年噴火

#姫松裕志

-休憩-

2022年10月6日(木)

地殻変動(2) (10:20-11:50)

地殻変動(1) (8:40-10:10)

座長：姫松裕志，落 唯史

座長：鷺谷 威，松島 健

33 10:20-10:35

時間依存する変形データを用いた地殻力学特性の
測地学的探査

#鷺谷 威, 山田直輝, Angela Meneses-Gutierrez

34 10:35-10:50

新潟-神戸歪み集中帯における2011年東北沖地震
後の塑性変形の再開

#山田直輝*, 鷺谷 威, Angela Meneses-Gutierrez

35 10:50-11:05

ITRF14系で見た日本列島周辺の地殻変動場の時空
間特性

#石田優香*, 高橋浩晃, 大園真子, Wu Weiwei
Guojie Meng

36 11:05-11:20

圧密理論に基づく桜島黒神地域の局所的沈降の物
理的解釈

#八木優明*, 風間卓仁, 大柳 諒

37 11:20-11:35

ALOS-2 SAR データで検出した硫黄島の急激な地殻
変動とその物理的解釈

#小船勇魚*, 高田陽一郎

38^o 11:35-11:50

精密水準測量によって検出された御嶽山の上下変
動(2021-2022年)

#村瀬雅之, 前田裕太, 金 幸隆, 堀川信一郎
松廣健二郎, 竹脇 聡, 及川 純, 手操佳子
百合本岳, 山田晋也, 木股文昭

SAR (1) (13:10-14:55)

座長: 藤原 智, 小澤 拓

39^o 13:10-13:25

ALOS 干渉 SAR プロダクト及び ALOS-2/Sentinel-1
レイオーバー・シャドウマップの作成と公開

#森下 遊, 杉本 隆, 島田政信, 夏秋 嶺
中村良介, 堤 千明, 山口芳雄

40 13:25-13:40

Lバンド InSAR によるスプラディック E 層の検出

#藤本達也*, 古屋正人, 日置幸介

41 13:40-13:55

ALOS-2 を用いた地震間地殻変動の検出: 悪条件下
での電離層擾乱への対応

#長岡頌悟*, 高田陽一郎, 木下陽平

42^o 13:55-14:10

全球大気再解析 ERA5 と GNSS を用いたハイブリッ
ド InSAR 大気遅延補正モデル開発の試み

#木下陽平

43 14:10-14:25

PALSAR-2 データを用いた DSI 法の有用性: 小笠原
硫黄島に関する適用事例

#小澤 拓

44 14:25-14:40

アトサヌプリ火山群の収縮変位の継続 - 3 世代衛
星による干渉 SAR 観測と ALOS-2 時系列解析 -

#藤原 智, 三木原香乃, 市村美沙, 石本正芳
小林知勝

昼休み・評議会 (11:50-13:10)

45 14:40-14:55

Sentinel-1 データの干渉 SAR 時系列解析による神奈川県川崎市における地盤変動の監視

#道家涼介, 鳴海智博, 里村幹夫, 植田伸一
原 天流

50 16:05-16:20

ソフトバンク独自基準点データの宇宙地球科学用途利活用コンソーシアムの構築

#太田雄策, 西村卓也, 青木陽介, 福島 洋
藤田実季子, 大塚雄一, 鷺谷 威, 伊藤武男
古屋正人, 大園真子, 大西建広, 池田将平
伊田裕一

-休憩-

51 16:20-16:35

RINEX データ前処理ソフトウェア”RINGO”の開発
(その2)

#川元智司

SAR (2) ・ GNSS (15:05-16:50)

座長 : 高田陽一郎, 太田雄策

46^o 15:05-15:20

Sentinel-1 衛星によりとらえた南パタゴニア氷原の氷河の流動速度の短期的変化

#伊藤悠哉*, 古屋正人

52 16:35-16:50

地盤変動情報 (JISLaD) の実際の測量への応用 (その2) —川崎市盛土造成地防災監視

植田伸一, #里村幹夫, 伊藤広和, 多田吉成
島田誠一, 末野幹雄, 藤井綾香, 庭野 基
相京幸一, 原 天流, 道家涼介, 鳴海智博
山口範洋

47 15:20-15:35

遠音別岳南東斜面における地すべり崩土の内部変形: InSAR による 3 次元速度場と変位時系列の推定

大塚隆世, #高田陽一郎

48^o 15:35-15:50

ユーコン準州ビーバークリークの森林火災跡地における凍土融解沈下: 干渉画像解析と現地観測による序報

#柳谷一輝, 古屋正人, 岩花 剛
Antoine Séjourné

坪井賞受賞式・記念講演 (16:50-17:50)

T1 個人賞

測地データに基づく沈み込み帯における断層の摩擦特性とすべりの多様性に関する研究

#加納将行

49 15:50-16:05

InSAR と GNSS データを用いた 2018 年房総半島沖スロースリップイベントにおける地表変位推定

#高部太来*, 青木陽介

2022年10月7日(金)

重力(1) (8:40-10:10)

座長：本多 亮, 松尾功二

53 8:40-8:55

相対重力計のスケールファクター検定における陸水重力擾乱補正の重要性

#若林 環*, 風間卓仁

54 8:55-9:10

屈斜路カルデラ周辺地域の重力点結合

#本多 亮, 丸藤大樹, 岡田和見, 岡 大輔
名和一成

55 9:10-9:25

海洋残差地形モデルの導入による沿岸ジオイドの精密化

#松尾功二

56 9:25-9:40

東北地方における GNSS/水準測量データを用いた精密重力ジオイド・モデルの精度評価

#市村和輝, 中島正寛, 深谷俊太郎, 豊福隆史
酒井和紀, 吉田賢司, 越智久巳一, 山本宏章
大森秀一, 塩谷俊治, 加藤知瑛, 畔柳将人
小川拓真, 半田優実, 松尾功二, 鈴木 啓
出戸雅敏

57 9:40-9:55

地上および衛星重力観測が捉えるアラスカ南東部の経年的な重力減少

#長縄和洋*, 風間卓仁, 松尾功二

58 9:55-10:10

1975年~1992年の相対重力データで明らかになった桜島火山直下の質量増加：火山ガス観測データに基づく考察

#大柳 諒*, 風間卓仁, 山本圭吾, 風早竜之介
宮城磯治, 井口正人

-休憩-

重力(2)・理論測地 (10:20-11:50)

座長：新谷昌人, 田中愛幸

59 10:20-10:35

弟子屈超伝導重力計観測で得られた季節的重力変化パターンの変化

#丸藤大樹*, 名和一成, 高橋浩晃

60 10:35-10:50

海岸からの距離が異なる複数地点の重力変動に対する海洋潮汐の影響の差

#後藤宏樹, 西 祐司, 池田 博

61 10:50-11:05

スロースリップ信号の検出に向けた石垣島地方気象台における連続重力データの解析(第二報)

#平松祐一*, 田中愛幸, 小林昭夫

62 11:05-11:20

小型絶対重力計 TAG-1 を用いた低温野外環境における連続重力観測

#新谷昌人, 岡 大輔, 風間卓仁, 西島 潤
服部晃久, 福田洋一, 奥野淳一, 青山雄一
土井浩一郎, 葛西恵介, 坪川恒也

63° 11:20-11:35

超伝導重力計 CT #036 の石垣島から松代への移設
について

#今西祐一, 池田 博, 田村良明, 名和一成
西山竜一, 本多 亮

64 11:35-11:50

地震時の重力変化に及ぼす密度の水平不均質の効
果

#田中愛幸, Volker Klemann, Zdenec Martinec

昼休み (11:50-13:10)

地殻変動(3) (13:10-14:40)

座長：西村卓也, 三井雄太

65 13:10-13:25

陸上 GNSS データを用いた東北沖プレート境界にお
ける非地震性すべりの検出

#富田史章

66 13:25-13:40

西南日本のプレート境界・ブロック境界の地震間
断層すべり時間発展の同時推定

#田中優介, 加納将行, 西村卓也

67 13:40-13:55

南海トラフにおける地震活動と大規模スロースリ
ップの海溝軸方向分布：重力との関係

#三井雄太, 上原啓嗣, 小杉一誠, 松尾功二

68 13:55-14:10

室津港の隆起の再検討

#橋本 学, 小澤慧一, 加納靖之

69 14:10-14:25

複数 GNSS 観測網の統合解析に基づく能登半島群発
地震に伴う地殻変動

#西村卓也, 平松良浩, 太田雄策

70 14:25-14:40

ネパール・ヒマラヤ断層帯のプレート間固着と地
震ポテンシャル

#田部井隆雄, 大園真子

-休憩-

地殻変動(4) (14:50-16:20)

座長：大園真子, 西山竜一

71 14:50-15:05

すべり量と断層面積のトレードオフに関する考察

#落 唯史

72° 15:05-15:20

GLAS における地殻変動補正情報の圧縮配信方式の
検討

#佐藤一敏, 藤田征吾, 廣川 類, 出口智恵

今給黎哲郎

73 15:20-15:35

GNSS データから推定したアトサヌプリ火山周辺の
収縮源

#大園真子, 高橋浩晃

74 15:35-15:50

点圧力源による無限円錐地形の変形

#西山竜一

75° 15:50-16:05

2014年 Iquique 地震の初期余効すべりによる最大
余震の誘発

#伊東優治, Socquet, Anne, Radiguet, Mathilde

76 16:05-16:20

男女群島女島における GPS 連続観測

#中尾 茂, 八木原寛, 仲谷幸浩, 平野舟一郎

森井康宏, 八木光晴, 馬越孝道, 山下裕亮

松島健

閉会宣言・学生優秀発表賞 (16:20-16:30)

(#: 発表者, *: 学生優秀発表表彰対象者,

○: リモート発表)

ポスター発表

掲示: 10月5日~10月7日

コアタイム 10月5日

(12:35-13:35)

P01 歪・傾斜データによる客観的 SSE 検出と四国東
部 SSE の検証

#矢部 優, 落 唯史, 松本則夫, 松澤孝紀

P02 2003年以降の地殻変動イベントを踏まえた電子
基準点の定常解析結果の時系列モデルの推定

#古屋智秋, 小林知勝, 中川弘之, 松尾功二

松本紗歩, 山下達也

P03 硫黄島の火山性断層変位の成長過程

— ALOS-2 干渉 SAR 時系列解析 —

#藤原 智, 三木原香乃, 市村美沙, 石本正芳

小林知勝

P04 MADOCA Products を用いた準実時間 GNSS
時刻比較

#藤本達也*, 後藤忠広, 市川隆一

P05 気象研究所における GNSS 対流圏遅延補正プ
ログラムの開発(第2報)

#奥山 哲, 安藤 忍, 新堀敏基, 鬼澤真也

P06 ALOS-2/PALSAR-2 が捉えた九重火山の複雑
な変動場

#成田翔平, 大倉敬宏

P07 ALOS-2 観測データを用いた干渉 SAR 時系列
解析による全国地盤変動監視

#石本正芳, 三木原香乃, 市村美沙, 古居晴菜

雨貝知美, 佐藤雄大, 小林知勝

P08 ITRF2020 における石岡 VLBI 局

#高木 悠, 石垣真史, 中久喜智一, 吉藤浩之
阿部 聡, 本田昌樹, 森 克浩, 佐藤雄大

(#: 発表者, *: 学生優秀発表表彰対象者)

公開講座

「地震や火山を実験で再現しよう！」

期日: 2022年10月9日(日) 10:30~12:00, 14:00~15:30

場所: 鹿児島市立科学館

対象: 小学生以上

講師: 風間卓仁(京都大学)ほか

参加無料ですが、鹿児島市立科学館への入館料は必要です。

申し込み受付は、科学館HPの応募フォームで、9月9日9:30から9月18日18:00まで行います。

じしん かざん
地震や火山を
じっけん さいげん
実験で再現しよう!

講座参加費
無料

日本測地学会・小中学生向け参加体験型公開講座

日時 10月9日(日)
2022年
◆午前の部 10:30~12:00 ◆午後の部 14:00~15:30

場所 鹿児島市立科学館
〒890-0063 鹿児島県鹿児島市堀池 2-31-18
TEL 099-250-8511 / <https://www.k-kagaku.jp/>

講師 京都大学 理学部 理学部 風間 卓仁
測地学研究室 助教
ほか全国の研究機関の若手研究者・学生

対象・定員 小学生以上・各回 20名

料金 本講座の参加費は無料
◆別途入館料が必要です(年間パスポート可)

申込 科学館 HP より受付
◆受付期間: 9月9日(金)~18日(日)
◆応募者多数の場合は抽選といたします
◆スマホの方はQRコードでアクセス▶▶▶

共催 日本測地学会・鹿児島市立科学館

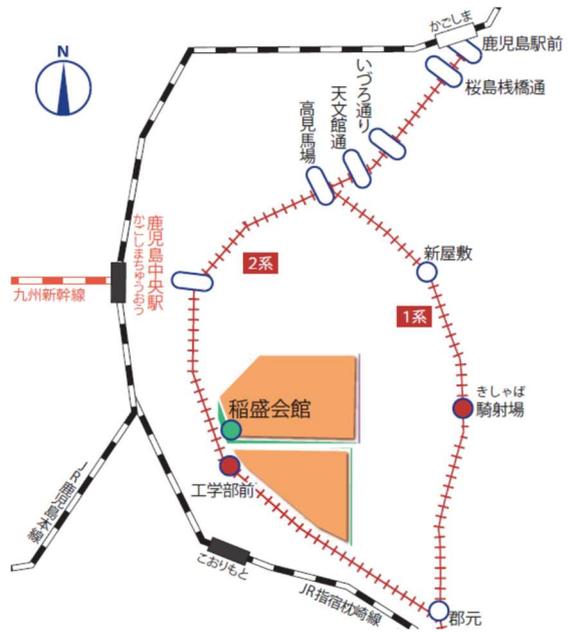
講演会場: 鹿児島大学稲盛会館

<https://jimu.eng.kagoshima-u.ac.jp/inamori/>

- ・JR鹿児島中央駅から徒歩約30分(1.8km)
- ・鹿児島中央駅前電停から鹿児島市電2系統郡元行き『工学部前』下車: 徒歩約1分

学内には一般の方の駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

体温が37.5度以上の方、咽頭痛などコロナウイルス感染症の感染が疑われる体調不良の場合は、講演会場への来場をお控えください。



キャンパスマップ

講演会場: 鹿児島大学稲盛会館



学内の食堂、レストラン

生協中央食堂(講演会場より徒歩約7分)

稲盛記念館(講演会場より徒歩約8分)

1階: フードコート

2階: レストラン



The Geodetic Society of Japan